

(注)本サンプルの記載内容は事実とは関係ありません。

インドネシア ジャカルタ都市鉄道 建設プロジェクトに係る招へい

ABC株式会社

目 次

- 1 プロジェクトの概要
 - ・ 案件名、対象国、都市、プロジェクト概要、事業総額、等
- 2 プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）
- 3 プロジェクトの内容・地図及び資金計画
- 4 プロジェクトのスケジュール・進捗状況
- 5 受注を目指す内容/技術仕様等
- 6 ビジネス・スキーム図
- 7 当該技術の優位性・納入実績
- 8 当該技術等の競合状況
- 9 相手国関係機関
- 10 プログラム案
- 11 **プログラム**実施後の活動予定及び将来のビジネスモデル

1 プロジェクトの概要

(1)プロジェクト名	○インドネシア ジャカルタ都市鉄道建設案件
(2)国／地域(都市)	○インドネシア／ジャカルタ
(3)分野(事業形態)	○鉄道(新設)
(4)プロジェクト主体	○ジャカルタ市(……地下鉄公社)
(5)プロジェクト内容及び 公表状況	○…… ○当該プロジェクトは現地にて公表済み
(6)プロジェクト総額及び 資金計画	○……億円 ○……
(7)受注を目指す内容 及びその金額	○上記プロジェクトに関して、当社と甲社、乙社及び丙社が協力し て、…… ○……億円
(8)協力企業	○……社及び……社(他に……社等の参加も見込まれる)
(9)実施希望時期 及び実施目的	○実施希望時期:2015年10月頃 ○……を目的とする。
(10)過年度事業又は 関連事業の実施状況等	○平成26年度の経産省インフラ・システム獲得支援事業を実施(研修) ○本年度JICA「……事業」に応募中
(11)日本政府関係省庁等 との相談・協議状況	○経産省…課及び国交省…課と相談中 ○JICA/JBIC/JETRO(…部)へプロジェクト説明済

2 プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）

インドネシア計画省

◆「国内都市鉄道計画」

>>>都市の人口増大に対応しつつ、環境対策・渋滞緩和等を前提に、自動車交通によらない大量公共交通システム導入に優先的な焦点を当てた交通計画の立案



ジャカルタ市

◆「ジャカルタ交通計画」

>>>大量交通システムとして都市型鉄道の導入を検討

＊注釈＊

「プロジェクトの背景・経緯」
⇒プロジェクトの背景・経緯について、対象国政府における開発計画上の位置づけ、プロジェクト形成に関わる相手国政府や関連団体などのそれぞれの役割などについても、図などを使って分かりやすく示してください。

日本製品・技術をPRLし、日本式交通システムの導入を目指す

3 プロジェクトの内容・地図及び資金計画

プロジェクト内容

[ABC株式会社]

○市中心地から西部地区を通
過する15キロの路線に、LRT
システムの導入を提案

○.....

(技術詳細後記参照)

事業資金の計画・見込み等

▽事業資金は(ほぼ全額について)
円借款を想定。

- ・発注者側も資金計画を併せて
提案することに期待

▽JICA等関係機関に相談中。

- ・JICA担当部門も前向きに検討

ジャカルタ 地図



4 プロジェクトのスケジュール・進捗状況

◆鉄道建設計画の進捗状況等

JICA「ジャカルタ交通計画」M/P策定済

- ・作成時期:2017年5月
- ・内容:ジャカルタの交通計画の概要(人口予測、10年先、20年先の交通システム導入計画図)
- ・当該プロジェクトの関係:未来の交通システム導入計画図に記載されている。

2019年～2020年 鉄道事業計画の調査・検討

2021年度 事業計画(資金計画を含む)検討・決定

2022年末頃 入札(見込み)

2023年～ 事業着手

2025年頃 完工予定

2022年度の招へいで日本製品・技術の優れている点を理解してもらい、受注に繋げたい。

＊注釈＊

「プロジェクトの進捗状況」

●FS調査の実施の有無、相手国での予算化や入札、着工の予定時期などについて、(分かる範囲で)具体的なスケジュールを記載してください。

●招へいを実施する時期が、プロジェクト進捗のどの時期に当たるのか(どの段階で実施したいのか)を示してください。

5 受注を目指す内容/技術仕様等

◆ABC LRTシステム



製品の写真など

地上部分10キロ、地下部分5キロ

規模:延長約15km

仕様:(車輦)

- ・軌間 1435mm
- ・編成 5両1編成、25m/編成
- ・乗車人数 約120人(1編成)

＊注釈＊

「技術仕様等」

●当該案件のコアとなる製品・技術などについて、写真や図などを入れて、分かりやすく示してください。

7 当該技術の優位性・納入実績

◆当該技術の優位性・納入実績

- ▼安全性(……県……市において19……年に導入後、これまでに1件の事故も発生していない。)
- ▼静粛性(他方式と比較して静音性に優れている。具体的には、……。)
- ▼定時運行性
- ▼
- ▼

- ……国……都市鉄道(……年)
- ……国……鉄道(……年)

8 当該技術等の競合関係

◆鉄道方式

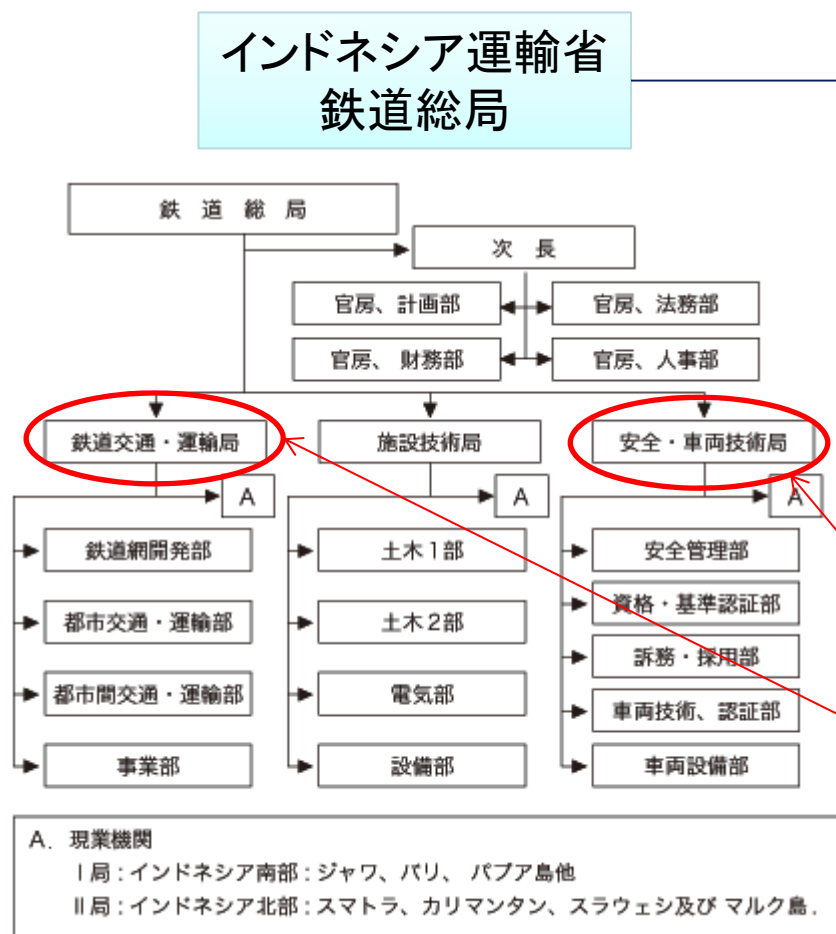
	A社 (仏)	B社 (独)	C社 (韓)	D社 (中)	E社 (日)	当社
都市型鉄道(…式)						
都市型鉄道(…式)						
都市型鉄道(地下)						
都市間鉄道(準高速)						

◆優位性比較

	A社 (仏)	B社 (独)	C社 (韓)	D社 (中)	E社 (日)	当社
システム概要						
車長／車幅						
最高速度						
初期投資						
初期投資＋維持費						

9 相手国関係機関

◆プロジェクト関係機関及び招へい対象者



＊注釈＊

「招へい対象者」

●当該プロジェクトの関係機関を組織図等を使ってご説明ください。

●プロジェクト関係機関(者)のうち、招へい対象機関(対象者)はどこ(誰)になるのかをお示しください。

インドネシア地下鉄公社

・総裁
・エンジニア

ジャカルタ市政府

関係局の局長クラス及び
仕様書作成担当課長

10 プログラム案

◆プログラム案

10月初旬頃にインドネシア運輸省の局長等、鉄道会社幹部及びエンジニア等を対象とした**受入研修**を実施。

	午前(9:30~12:30)	午後(13:30~16:30)
1日目(木)	来日	オリエンテーション
2日目(金)	講演「日本の鉄道技術」	講演「鉄道システム開発・運行計画」
3日目(土)	提案方式実地視察(運行車両搭乗等)	
4日目(日)	移動	
5日目(月)	車両モーター製造工場訪問	移動
6日目(火)	メンテナンス現場訪問	
7日目(水)	講演「鉄道のオペレーション・メンテナンスの在り方」	経産省・課及び国交省・課等との意見交換
8日目(木)	JICA等関係機関との意見交換	ラップアップミーティング
9日目(金)	帰国	

＊注釈＊

「プログラム案」

●プロジェクト獲得のためにどのようなプログラム内容であれば日本の強みを示せるのか、招へいプログラムのアイデアをお示しください。

●招へい対象者や実施時期についても、想定の範囲で構いませんのでご説明ください。

1 1 プログラム実施後の活動予定及び将来的なビジネスモデル

(プログラム実施後の活動予定)

- 本プログラム事業終了後は、引き続き当該技術の優れている点について理解を得るために、日本政府関係機関の支援を得て、現地プロジェクト関係者への説明を継続する予定。
- また、事業資金組成に協力するためJICA関係部門への案件説明を積極的に実施する予定。

(受注目標)

- 本プロジェクトでは、商社(甲社)、車両メーカー(当社ABC)、電装品メーカー(乙社)、信号メーカー(丙社)が協力し、総額●●億円の受注を目指す。

(将来的なビジネスモデル)

- 受注後は、日本のコンサルタント会社(丁社)の仲介により、現地□□社と業務提携し、車両の運行管理についても日本式が採用されることを目指す。

(年間 …円 ×10年契約=……円)

＊注釈＊

「将来的なビジネスモデル」

●プロジェクト受注後、当該国でどんなビジネスを展開していきたいかを示してください。

<注意事項>

- 上記の記載例（Sample）を参照して、各案件に応じて適宜適切に資料作成してください。
- 資料作成にあたっては、以下の事項については必ず記載してください。
 - ①プロジェクトに係る案件名、対象国・都市、事業総額・資金計画、協力企業等名・協力内容、日本政府等との協議状況、等
 - ②プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）
 - ③プロジェクトの内容・地図及び資金計画
 - ④プロジェクトのスケジュール・進捗状況、公表・公開状況
 - ⑤受注を目指す内容/技術仕様等
 - ⑥ビジネス・スキーム図、ファイナンススキーム図
 - ⑦当該技術の優位性・納入実績
 - ⑧当該技術等の競合状況
 - ⑨相手国関係機関
 - ⑩国内対面（招へい等）、海外対面（専門家派遣等）、遠隔研修プログラム案
 - ⑪プログラム実施後の活動予定及び将来のビジネスモデル